124号
昭和42年(1967)
4月10日発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)(2)2151番

広報とちお

昭和32年2月20日第三種郵便物認可　毎月10日発行)定価一部2円)

栃尾市の人口
(3月末日現在)

世帯数	7,626
男	17,532人
女	18,962人
計	36,494人

今月の市税
▷固定資産税　第1期分
▷軽自動車税
納期 5月1日

三月定例市議会終る
当初予算など原案可決

昭和四十二年第二回市議会定例会が、さる三月十一日市役所で開かれ、会期を二十八日までの十八日間ときめ、本会議、各常任委員会で終日熱心に審議されました。また

この三月市議会は、新年度の予算を決める重要な議会で

会議を十一、十三、十四、二十七日の十日間、開会しました。

【写真は新しい議場における市議会】

昭和四十二年度予算編成のあらましをご説明いたします。

市長就任以来まだ日も浅うございますが、市政の最高執行責任者として真に市民福祉の向上をねがい、あらゆる角度から研究、検討し財政力を勘案のうえ、新年度予算の編成にあたりました。

災害復旧および庁舎建設の最終年度事業費をはじめ各種施策に要する事業費などで予算総額は、八億四千七十五万九千円で、前年度にくらべ四千八十四万二千円増となり　今までにない

まず歳入について申しあげますと、自主財源である市税につきましては、ほとんど増収を期待することができませんので、前年度決算見込みなどを考えまして一億八千二百八十四万四千七十五万九千円を計上いたしました。

地方交付税につきましても、前年度実績を考え、前年度より五千万円の増加を見込み二億二千万円を計上しました。その他の財源としましては、国、県支出金と起債がおもなものです。

歳出の面につきましては前年度以上に消費的経費の節減をはかり建設的経費の捻出につとめました。

本年度は、昭和三十九年発生災害の最後の復旧年度であり、最重点施策として事業の完成を期する所存で農林施設災害を含わせた復旧事業費として一億四千百万円余を計上し、また、住宅難を緩和するため、公営住宅十戸分建設費九百八十七万六千円を計上いたしました。

農林行政におきましては単市土地改良、農林漁業用揮発油税財源分特農道等の事業費補助など農地費に一千九十万円余りを計上、

こんどの市議会が、新庁舎の新しい議場で開かれたはじめての議会であることと、地方選挙を間近に控えていることなどから、十一日には東谷婦人会、十三日には川谷婦人会などの団体のほか、一般のかたが多数傍聴されました。

今回の市議会に市長から提出された議件は十六件、議会から提出された請願二十件、陳情八件でした。

市立保育所など建設
市民福祉の向上を
栃尾市長　山井龍三郎

万円余りを計上し、また、農業振興を図っていきたい考えであります。

中小企業等金融対策につきましては産業育成資金二千三百万円を見込み、産業の伸展を期する考えであります。

土木行政につきましては乏しい財源のなかから道路橋梁費に六千六百三十一万円余りを見込んでおり、市政発展の基整となります。

ところの道路橋梁の整備を図るものであります。

栃堀小、東谷小統合校舎敷地の買収および整地費をはじめ塩川小プール建設用地土堀小学校増築用地買収費など合わせて九百十九万八千円を見込み、また学校給食の完全実施を図るため一千四百三十八万七千円を新しく設け、児童生徒の保健体育の向上を期するものです。

農業振興を図っていきたい考えであります。

中小企業等金融対策につきましては産業育成資金二千三百万円を見込み、産業の伸展を期する考えであります。

土木行政につきましては乏しい財源のなかから道路橋梁費に六千六百三十一万円余りを見込んでおり、市政発展の基整となります。

ところの道路橋梁の整備を図るものであります。

教育関係につきましては栃堀小、東谷小統合校舎敷地の買収および整地費をはじめ塩川小プール建設用地土堀小学校増築用地買収費など合わせて九百十九万八千円を見込み、また学校給食の完全実施を図るため一千四百三十八万七千円を新しく設け、児童生徒の保健体育の向上を期するものです。

さらに栃尾高等学校の校舎改築事業の地元負担金としまして、本年度分一千万円を計上いたしました。

特別会計につきましては公営企業であります、ガス、上水道事業とも需要増加にこたえまして拡張事業を実施中でありますが、企業はいずれも順当な進展により独立採算のもとに予算編成することができました。

国保会計につきましては発足以来黒字決算により財政を維持しています。

保険給付費が今後大巾な支出増加が見込まれる場合は財政運営の健全化を図る措置が必要であります。

以上あらまし申しあげましたが、百年の大計のためあくまでも健全財政を貫き執行にあたりましては、事業効果、投資効果を考慮し経費の効率的執行を図る考えであります。

行政・心配ごと相談を四月二十四日午前十時から午後三時まで市役所で行ないます

市立保育所建設費一億四千万円
災害復旧費一億四千百万円

今回の市議会で成立した昭和四十二年度予算のあらましについてみますと

総務費が一億八千九百十五万八千円

三ヵ年の継続事業で実施しました市庁舎建設事業は、本年度が最終年度であり、この建設費九千六百五十三万円、このほかは事務関係にどうしても必要な経費です。

災害復旧費が一億四千百十四万二千円

これは、昭和三十八年、三十九年、四十年と災害があいついで発生し、市内の農地、治山施設、公共土木施設に大きな被害をうけましたが、この災害復旧事業も三十九年以来歳出予算の約三十パーセントをあてて工事が進められ、全工事の約八十パーセントが完成しました。

ことしが、その最終年度にあたり、農地等災害復旧費に九千二百四十一万一千円、公共土木施設災害復旧費に四千七百六万六千円、治山災害復旧費に十六万五千円、また、災害応急対策費百五十万円などを計上しております。

民生費が一億一千五百十五万三千円

生活保護費の扶助費が五千四百四十二万八千円、児童福祉の面では、保育所措置委託料二千六百八十三万五千円

本年度の新規事業として市立保育所建設費一千四百一万三千円などが主なものです。

教育費が一億一千二百十五万七千円

おもなものは

▽小学校費が三千九百三万三千円

おもなものは、東谷小、栃堀小の統合校舎建設敷地購入および整地費八百九十六万五千円、その他学校の維持管理費に二千四百二十八万七千円、教育振興費に五百五十四万八千円などです。

▽中学校費が一千九百六十二万一千円

本年度は、学校建築などの大きな事業はなく、維持管理に必要な経常的経費です。

学校管理費が一千三百四十五万八千円、教育振興費が六百十六万三千円です。

▽高等学校費一千二百四十四万六千円

おもなものは栃尾高等学校改築に伴なう地元負担金一千万円、定時制高等学校補助二百二十六万一千円などです。

▽教育総務費は、教育委員会費、事務局費、建物取得費指導費を含め、一千百三十万七千円です。

▽社会教育費一千三百六十六万二千円のうち、社会教育総務費が九百十九万五千円、公民館費が三百六十五万五千円、家庭教育学級費が五十一万二千円です。

▽保健体育費一千六百八万八千円のうち保健体育総務費が百七十万一千円、学校給食費が一千四百三十八万七千円で、全体で一千九百十万三千円などです。

衛生費が三千五百七万六千円

伝染病予防のための予防費が五百五十万二千円、環境汚生の面では、ゴミ収集車購入費百六十万円、し尿汲取委託料六百四十八万円などです。

商工費が三千百八十八万六千円

中小企業振興のための商工振興費二千九百五万五千円、守門山、道院、城山等の観光地整備費が九十九万八千円、本年度新たに工業用水調査費四十万円が計上されました。

消防費が二千六百六十九万四千円

消防施設として防火水槽六基、可搬式ポンプ五台、無線電話機三基などの購入を予定しています。消防費総額では昨年より三百四十八万六千円ほど多くなっています。

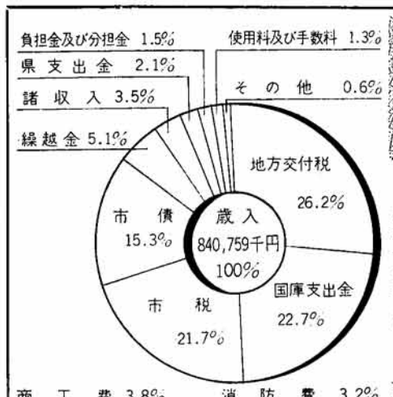
議会費が一千七百十八万四千円

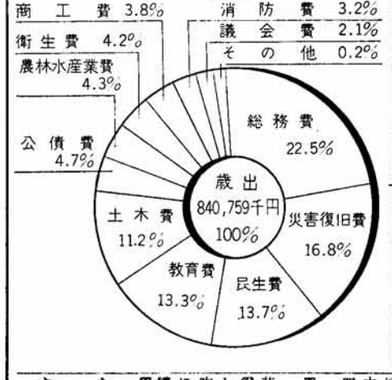
議会運営や議会活動に必要な諸経費です。

議支出金が七十万三千円

警察費負担金取得費などです。

予備費は百万円





住宅金融公庫一般個人住宅建設資金借入申込を受付、申し込みは四月二十日から五月十日までに栃尾信用金庫、大光、新潟、北越各銀行支店へ

市立保育所への請求書は納品と同時に願います

市役所では、四十二年度から伝票会計制度を採用することになりました。そのために、これからは原則として請求書は納品のときに納品書といっしょに提出されるようご協力を願います。

渡辺芳夫氏助役を辞任

市助役渡辺芳夫は、このたび一身上の都合により、さる三月十日づけをもって辞任されました。

渡辺さんは、旧荷頃村助役併のため荷頃村長を辞任、市長兼商工課長、三十一年六月産業課長、三十二年四月再び総務課長を経て、三十六年十月助役に就任され、以来五年半にわたり助役の要職をつとめられました。

この間、三十七年、三十八年の豪雨および三十八年二月の豪雪、三十九年の七・七集中豪雨とあいつぐ災害にあたっては特に市長の補佐役としてその力量を充分に発揮されよき女房役として市勢の発展のために尽されました。

側施行の二十九年六月一日市役所で開かれ、会期を二十八日までの十八日間ときめ、本会議に提出された議件は、以後、三十年十二月総務課長に就任されました。

以後、三十年十二月総務課長兼商工課長、三十一年六月産業課長、三十二年四月再び総務課長を経て、三十六年十一月一日から昭和二十六年一月一日まで、総務課長を経て、三十六年十一月一日から昭和二十六年一月一日まで、農地等災害復旧費に九千二百四十一万一千円、公共土木施設災害復旧費に四千七百六万六千円、治山災害復旧費に十六万五千円、また、災害応急対策費百五十万円などを計上しております。

愛農学級など三つの学級を開講
いつでも気がるに入級を

◇愛農学級

ここ数年来、若い農村青年が他産業へ流出し農業後継者の養成が大きな社会課題になっております。

そこで、当公民館と農業改良普及事務所の共催で中学、高等学校を卒業して農業後継者になる人のために「愛農学級」を一昨年から開設してきました。

この愛農学級は、農業に興味をもたせやりぬこうとする根性を育成しようとするものです。つまり心の教育

①社会人としての教養態度を養う（頭の教育）

②農業の基礎的技術の修得と企業的能力を養う（腕の教育）

③健康とたくましい実践性を養うなどをねらいとして四月十三日に開講しました。来月からは第二、四木曜日午前十時から午後三時までの年間十八日間を学習日として次の内容をもって実施いたします

◇農業経営について
◇稲作について
◇害虫について
◇いもち病について
◇稲作診断と収量調査
◇市内外優良農家視察
◇県外視察研修
◇畑作について
◇審査　◇講演会
◇技術交換会　◇映画鑑賞会
◇レクリエーション

本年度は公民館に開催して学習をいたしますので希望者は公民館か農業改良普及所へ申し込みください。

◇婦人学級

私達の生活は、日一日と進歩発展し、毎日毎日があわただしく過ぎ去っております。

そんな中で婦人は、なかなか自分自身の時間を見いだし、反省することが少ないようです。

そこで、当公民館では、婦人学級を開設して、婦人のかたがたが共に手をつなぎあって

一　生活に関する諸問題
二　社会や政治に関する問題
三　人間関係の諸問題
　　その他一般教養について

講演、話し合い、映画等によって学習をしようとするものです。開講は五月七日を最初に毎月七日午後一時三十分から公民館を会場に開催いたしますので希望者は公民館へ申し込みください。

なお、年間計画パンフレットが公民館の窓口にありますので、おいでください。

◇映画教室

四月から新しい教養講座として開設した「映画教室」は各種の優良映画をみながら、話し合い活動を行なって、市民の皆さんから一般教養を身につけていただくために開設したものです。五月の映画会は、五日と十八日です。

喜びの成人式挙行
六八一人がおとなの仲間入り

【よろこびの成人式】

栃尾市第十八回成人式が、さる四月三日午前十時より栃尾小学校を会場に挙行されました。この日おとなの仲間入りをした新成人者は男女六百八十一人（男三百三十八、女三百四三）であります。

この新成人は、昭和二十一年四月二日から昭和二十二年四月一日の間に生れた人たちです。式典には、市長を始めじめ各界の名士多数のかたがたから祝福、激励されました。また市民の皆さんから栃尾城跡がつづじの名所になるようご協力願います。

成人代表として武士俣男一郎さんが成人に与えられた重大な責任と使命を新たに栃尾市発展に努力しますと謝辞を述べ式典を終了しました。

そのあと、記念行事に移り成人者男子代表渡辺井益郎さん、女子代表中村照美の感想文発表があり、引続き昭和七年ロサンゼルスの第十回オリンピック大会に陸上競技に優勝した南部忠平先生を講師に招き「スポーツマン精神と人生」と題して一時間にわたり記念講演がありました。

五月二十一日に成人のつどい

第十八回成人式該当者を対象に、五月二十一日午後一時閲覧室を使用しますので、成人の該当者は、多数お集りください。この日は、成人としての話し合いやレクリエーションなどを行い、合せて成人式典は、市長を始めじめ各界の当日寄贈されたつつじの苗木の記念植樹も行ないます。

このつつじの記念植樹は、昭和三十九年成人者から、栃尾城跡をつつじの名所にしようと植樹されましたものです。

市民の皆さんも栃尾城跡がつつじの名所になるようご協力願います。

足やからだの不自由者の軽自動車税を減免
四月二十四日までに手続きを

市助役渡辺芳夫氏は、このたび一身上の都合により、さる三月十日づけをもって辞任されました。

下肢または体幹不自由者が所有し、自から使用する軽自動車などの軽自動車税が減免されます。該当すると思われるかたは、四月二十四日までに市役所税務課で手続きをしてください。

農業振興を図っていきたい考えであります。

中小企業等金融対策につきましては産業育成資金二千三百万円を見込み、産業の伸展を期する考えであります。

土木行政につきましては乏しい財源のなかから道路橋梁費に六千六百三十一万円余りを見込んでおり、市政発展の基整となります。

ところの道路橋梁の整備を図るものであります。

教育関係につきましては栃堀小、東谷小統合校舎敷地の買収および整地費をはじめ塩川小プール建設用地土堀小学校増築用地買収費など合わせて九百十九万八千円を見込み、また学校給食の完全実施を図るため一千四百三十八万七千円を新しく設け、児童生徒の保健体育の向上を期するものです。

下肢等不自由者が所有し、もっぱら自から運転する軽自動車等で事業用でないものでひとり一台に限る

3　減免申請期限

◎普通徴収による場合は四月二十四日まで

◎随時徴収（月割課税）の場合は、標識（ナンバー）の交付申請をするとき

4　申請に必要な書類等

印かん、身体障害者手帳、運転免許証

くわしいことは税務課へ

年金保険料の免除申請
五月末日までに

国民年金に加入しているかたで、収入が少なくて生活がいちじるしく困るかたは、保険料の免除申請ができます。

ことしの四月から来年の三月分までの保険料の免除をうけようと思うかたは、印かん持参のうえ五月末日までに市民課国民年金係で免除申請の手続きをしてください。

公民館だより

公民館図書室へどうぞ

当公民館は新市庁舎の竣功により、旧市役所に移転いたしました。

そのため、図書室も貸出業務を休んでおり市民の皆さんにはたいへんご不便をおかけいたしましたが、このほどようやく図書整理もでき、図書閲覧室も不十分ながら十日から開館いたしております。

今までは、週三回の開館を日曜、祭日を除き毎日午前十時から午後五時まで（土曜日は十二時まで）開館することに致しましたので、皆さんのご利用をおまちしております

図書室の利用は、図書閲覧の場合は、利用においでのとき係員に申してください。

また当図室の蔵書は、約五千百冊と増加しましたが、市民の皆さんから家にあり図書で不用のものがありましたらご寄贈ください。

ますます増設

人事発令

◇退職　（三月三十一日付）

勝沼勘一郎（ガス水道課）
星　五十里（消防署）
諏佐小小一郎（ガス水道課）
清水　フミ（保健衛生課）
増井　重蔵（〃）
勝沼弥之助（〃）
村越　将高（二日町）
石原　芳高（仲子町）
斎藤　国夫（本津川）
猪俣　茂俊（北荷頃）
今井　博（二ノ之貝）
島　正（栃堀）
原　恵美子（菅畑）
西川百合子（菅畑）

◇採用

剣持　昭三（二ノ之貝）
倉茂　二三九（〃）
山田　栄憲（小泉）
小林　文雄（巻潮）
諏佐　秀雄（新山）
村越　将高（二日町）
石原　芳高（仲子町）
斎藤　国夫（本津川）
猪俣　茂俊（北荷頃）
今井　博（二ノ之貝）
島　正（栃堀）
原　恵美子（菅畑）
西川百合子（菅畑）

◇昇格

ガス供給所主任を命ずる、技師に補する。

技手　大崎誠一

◇勝沼弥之助さんは昭和二十二年十一月一日から清掃夫、火葬夫として、じみな仕事に精励されました。

なお、今回退職されたかたはいずれも勧奨に応じられ退職されたものです。

▼勝沼勘一郎さんは昭和二十一年十一月一日から清掃夫として、まじめに勤務されました。

▼星五十里さんは昭和三十九年十月十四日懇望されて消防署次長となられ今日まで消防行政一筋に打込まれてこられました。

▼諏佐小一郎さんは昭和三十八年九月一日ガス供給所の作業員として就職され、ガス供給所の管理運営につくされました。

▼清水フミさんは昭和三十一年九月一日就職、帯納整理につくされ、その後保健衛生課にうつられました。

▼増井重蔵さんは昭和十九年八月十五日から今日まで清掃夫として、まじめに勤務されました。

▼課佐小一郎さんは昭和三十八年九月一日ガス供給所の作業員として就職され、ガス供給所の管理運営につくされました。

▼清水フミさんは昭和三十一年九月一日就職、帯納整理につくされ、その後保健衛生課にうつられました。

▼増井重蔵さんは昭和十九年八月十五日から今日まで清掃夫として、まじめに勤務されました。

▼勝沼弥之助さんは昭和二十二年十一月一日から清掃夫、火葬夫として、じみな仕事に精励されました。

なお、今回退職されたかたはいずれも勧奨に応じられ退職されたものです。

◇昇格

ガス供給所主任を命ずる、技師に補する。

技手　大崎誠一